

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年2月2日 (2012.2.2)

【公開番号】特開2010-190242(P2010-190242A)
 【公開日】平成22年9月2日 (2010.9.2)
 【年通号数】公開・登録公報2010-035
 【出願番号】特願2009-32328(P2009-32328)
 【国際特許分類】

F 1 6 C 19/16 (2006.01)

F 1 6 C 33/58 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 19/16

F 1 6 C 33/58

【手続補正書】
 【提出日】平成23年12月9日 (2011.12.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

内輪軌道面を有し固定輪である内輪と、外輪軌道面を有し回転輪である外輪と、前記内輪軌道面と前記外輪軌道面との間に周方向に所定の間隔で配置された複数の玉とを備え、前記玉が前記内輪軌道面と 2 点で接触する玉軸受を軸方向に組み合わせて構成される軸受ユニット。

【請求項 2】

前記玉軸受は前記玉が前記外輪軌道面と 1 点で接触する 3 点接触玉軸受、または、前記玉が前記外輪軌道面と 2 点で接触する 4 点接触玉軸受である請求項 1 に記載の軸受ユニット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 9】

本発明の上記目的は、下記の構成により達成される。

(1) 内輪軌道面を有し固定輪である内輪と、外輪軌道面を有し回転輪である外輪と、前記内輪軌道面と前記外輪軌道面との間に周方向に所定の間隔で配置された複数の玉とを備え、前記玉が前記内輪軌道面と 2 点で接触する玉軸受を軸方向に組み合わせて構成される軸受ユニット。

(2) 前記玉軸受は前記玉が前記外輪軌道面と 1 点で接触する 3 点接触玉軸受、または、前記玉が前記外輪軌道面と 2 点で接触する 4 点接触玉軸受である (1) に記載の軸受ユニット。